

信篤 (SHINTOKU)

市川市議会議員

松永おさみ

いちかわ

後援会だより 第26号

事務所 原木 1-22-16

電話・FAX 047-327-1470 www.matsunaga.o.net

一般会計 一、二、三、八億円

予算総額 二、二、四、二億円余

市川市議会二月定例会は、二月十八日に招集開会され三月二十四日迄の三十六日間にわたり開催されました。

二月議会は、新年度予算を審議することから 予算議会といわれ、会期も長く、特別会計・企業会計を含めた議論が行われました。この議会では、市長から提出された四十二議案と人事案件十案、その他三案を審議、全て原案通り可決しました。

松永おさみ市議は、市長から提案された施政方針と新年度予算に対する代表質疑を行った外、一般質問を行いました。その内容を以下ご報告させて頂きます。

「一般質問の概要」
原木に待望の公園完成 !

十三年余の期間を費やし、完成にこぎつけた原木西浜土地区画整理組合事業は、総面積一四七、三〇九㎡、事業費合計四十三億円余の規模の中で四、四三二㎡の公園が見事に整備され、四月から市が寄贈を受け管理致します。公園内には、しだれ桜、市の木黒松をはじめ、しだれ花桃「源平」をはじめ八重桜など高価で珍しい樹木が

目を引きます。又、区画整理地周辺には百六十三本の桜の苗が植栽されています。

質問「区画整理地周辺の道路等の環境整備についての考え方は」

答弁「街づくり部、文化国際部、水と緑の部が協力し周回路の現地調査終了し、原案を策定、全長五・五KMの候補ルートを選定し、地元の方々などの意見を伺う。また、原木、高谷地区のより良い周回路ルートを選定したい。二十一年度から予算を計上して対応したい」

質問「市が寄贈を受ける公園の管理体制は」

答弁「樹木剪定、草刈、除草、害虫駆除、園内清掃など全ての管理業務を一括して委託する予定、災害時の避難場所となる貴重な施設となる」

質問「税金見込と本事業の評価は」

答弁「土地の固定資産税として六千四百万円を見込む。今後土地利用が進み建築物が地区計画により整然と造られていく。本事業が成功裡に完了する事で周辺の地権者の方に及ぼす波及効果が期待できこれこそ官民協働による真の街づくりと考える。これを契機に周辺市街化調整区域においても地権者の協力を得て、良い街づくりを進めたい」

食の安全—学校給食問題！

質問『学校給食申込み制導入の経緯と食材の地場産品の活用についての考えは』

答弁『申込書の主旨は、学校と保護者が安全・安心な給食の提供と給食費の納入を相互に約束するものです。定例の教育委員会議報告に際しては、これが最終的な解決策ではないと思ふ関係者の意見を汲みながら改善が必要との意見も出た。滞納の状況は、十九年末で小学校九五人で約一二万四円、中学校は一一五人で二二万四円余、市川産の野菜等の食材使用率は、本年度八%、県産は二八・八%である。地産地消の考え方は、調理現場に浸透してきていると認識している』

質問『中国産食材の食中毒事件への市の対応策は』

答弁『一月二十二日食中毒事件発生後、市民病院担当医師から有機リン系農薬による疑いがあったことから、市川保健所、警察に通報された。その後、食べ残しのギョウザからメタミドホスが検出され確認された。市は報告を受けたあと、関係機関へ注意を促した。今回の事件を教訓として、危機管理体制のマニュアルを作成し、広く市民に周知する体制を整備し、市民の食の安全を確保するよう努めていく』

市場内で倒産した京市問題について

質問『債権者、債務額の内容を伺う』

答弁『破産手続き申し立て時の数値として、債権者は三六九人で、債務額は一八、五二六万円余、この内市川市内農家の債権者は七二人、債権額は二、七二八万円余りである』

※この他、清算に向けての動向と農家への救済見通しについては

三月十八日の債権者集会の中で今後の対応、日程が説明されると思う。そして農家救済のため市場使用料の一部を返済に充てて欲しいと訴えたが、その責任は卸売業者が負うべきと考えているとのこと。これらも含めて今後の市場の運営方法について検討し、活性化のため施設の整備を含めて対応していくとの応答がなされた。個々の救済については、残念ながら前進は見られなかった。

クリーンスパ市川の運営について

昨年九月一日に開設した温浴施設、プール、スポーツ施設は、本年二月末日までに一四九日の営業で、トータル八九、〇九六人の来場があり、一日当たり五九八人、そのような中で改善して欲しい事として、料金が高い・時間制限の廃止・大広間に衝立てを・休憩用のソファアライ類増設・露天風呂に屋根を・江戸川の管理用道路から入れる通路の設置等々の指摘、要望をしたので実現に期待します。市民開放日として、六月十日、十月二十四日、二十一年三月十日を計画しているとの答弁があり、公設民営の施設として各種サービスを実施していくとの事でした。

二俣川改修工事を船橋市が実施！

船橋市との市境を流れる二俣川の護岸は、老朽化と環境の悪化が進み、大変危険な状態になっています。周辺皆様の安全・安心を守る為、新年度船橋市が主体となって、補修工事が始まります。延長一五〇mのうち、最も危険性の高い約四〇mを千二百万円の予算で行い、次年度以降も引き続き工事を行う予定です。

側溝の蓋かけ完了—原木二丁目

あかぎ床屋さん前の、信篤小通学路に沿った下水側溝の蓋かけ工事が完了し、安全な通行が確保されました。

市長の施政方針に対する代表質疑

質問『WHO健康都市の国際大会における歓迎のあり方として、会場は勿論のこと、主要駅頭・公共施設の会場等に花を植え飾り付け、市民の歓迎の意を表すべきと考えるが如何か』

質問『地方政府にふさわしく、市議会が活性化していると市長が感じ取る印象とは何か』

質問『「e-モニター制度」の登録者の推移と最終目標は、新年度中に意見を聞こうとする案件は』

答弁『現在の登録者数は、三千二百名、一万人程度の方が登録していただければと考える。新年度も引き続きネットリサーチ調査、携帯電話でのイベントなどを開催した直後の声を集めるアンケート等を考えている』

質問『スポーツの振興・交流については、施設整備や指導者養成などを進めますとあるが、市体育協会や各競技団体と連携を強化することが求められるが、市長の見解は』

答弁『スポーツ振興基本計画の理念に掲げた、健康で、ふれあいい生まれるスポーツのまちの、実現に向けて進めていく』

質問『新設の危機管理課と、現場を預かる部署との連携をどう考えているかまた、浸水対策にもっと力を入れるべきと考えるが、見解を伺う』

質問『子育て支援について、保育園の待機児童の解消を図りますとあるがそのピーク時はいつ頃か、そしてどう取り組んでいく考えか』

答弁『要保育児童数は、現在五十五人であり増加している。一十二年度までに五園を整備、三三五人の定員増を図る』

質問『幼稚園資料で、私立幼稚園補助金三千円アップは評価する。幼児教育の中核を担う私立幼稚園の経営にさらなる支援を講じられたい。市長の見解は』

答弁『保護者の経済的負担を軽減するために、補助金を増額した。私立幼稚園の振興に向け、引き続き努力してまいりたい』

質問『高齢者施策として、ソフト面での支援策充実の考えは』

答弁『生き生き健康教室を四会場増やす。新たに介護相談員派遣事業を開始、市川駅南口再開発ビル内に、地域包括支援センターを増設するなど、今後共充実に努める』

質問『県立現代産業科学館の移譲について』

- ①資産の規模・価値は
- ②維持管理費と職員配置は
- ③移譲を受ける市側のメリット・デメリットは

答弁①建築面積約五、一五〇㎡、延べ八、四九三㎡台暖価格で約二億円土地は一八、一八二㎡評価額で約二十億円余

②県の決算では、職員は総勢三十六名人件費約二億三千万円余、維持管理費は約四億六千万円余

③メリットとして、既存展示物や博物館機能を残しつつ、地元企業の展示活動の場として、集い・学びの拠点を提供。ニッケコルトンプラザや生涯学習センターに接している立地条件を生かし、当該地区の一体的活用を図り利用者の増大につなげたい。デメリットとしては、大きな財政負担が生じることである。

市長の施政方針に対する質問

—続き—

質問 環境問題として「地球温暖化対策推進計画の具体的な項目は何か、○住宅用太陽光発電システム設置の補助は、○レジ袋の削減に向けた取り組み、そしてマイバック運動の具体的方策は」

質問 水と緑について「公園の計画、且つ効率的な再整備を進める中で、の予定計画は」

質問 行徳地域のまちづくりの中で「○広尾防災公園 ○塩浜護岸 ○常夜灯周辺 ○流域下水道第一終末処理場等の整備工程と見通しは」

質問 「政令指定都市に向けた取り組みの中でスポーツ施設等の共同利用についての具体案は」

質問 市川市病院事業会計予算について「市のリハビリテーション病棟の外来診療の窓口を拡大して、周辺住民の方々の声に応じて貰えないか、併せて歯科診療についても、地元のお年寄りに限って診て貰えないか」

平成二十年度市川市の予算

八年連続の積極予算

市川市の第三次総合三か年計画の仕上げ期を迎え、予算は計画事業の着実な進行を図ることを念頭に、重点施策を柱に編成され、十三年度から八年連続の積極予算です。一般会計が前年度比四・九%増の一、一三八億円となり、特別・企業会計を含めた予算総額は、○・四%減の一、一四二億九千七百万円となりました。

(下表は予算における市・県・国の比較です)

人口一人あたり、1世帯あたり予算額(市・千葉県・国)

区 分	項 目	平成20年度	平成19年度
1.市の予算	一般会計	123,800,000千円	118,000,000千円
人口 470,149人	一人あたり	263,321円	252,053円
世帯 213,336世帯	1世帯あたり	580,305円	561,205円
2.千葉県の予算	一般会計	1,440,660,000千円	1,445,299,000千円
人口 6,116,328人	一人あたり	235,543円	237,590円
3.国の予算	一般会計	83,061,340,000千円	82,908,808,000千円
人口127,785,000人	一人あたり	650,009円	648,908円

信篤地区関連予算・事業

- 仮称原木西浜公園管理費 必要額 三千万円
 - 原木公園ソフトボール場夜間照明 八百五十万円
 - 原木少年広場新設 四百五十万円
 - 原木中山駅駐輪場増設四百台分 四千万円
 - 二俣小トイレ改修・設計二か年工事 三千万円
 - 道路舗装事業二俣五七二番地先 三千三百万円
 - 人・水・緑と街づくりネットワーク構想
- 原木、高谷地区で市民提案を受ける。

人口一人あたり、1世帯あたり税負担額(市・千葉県・国)

区 分	項 目	平成20年度	平成19年度
1.市税	一般会計	78,190,000千円	77,377,000千円
人口 470,149人	一人あたり	166,309円	165,280円
世帯 213,336世帯	1世帯あたり	368,511円	368,003円
2.県税	一般会計	7,981億円	7,973億円
人口 6,116,328人	一人あたり	130,487円	131,067円
3.国税	一般会計	535,540億円	534,670億円
人口127,785,000人	一人あたり	419,095円	418,473円

※市の人口と世帯数、県の人口は20年1月1日現在、国の人口は19年8月1日現在